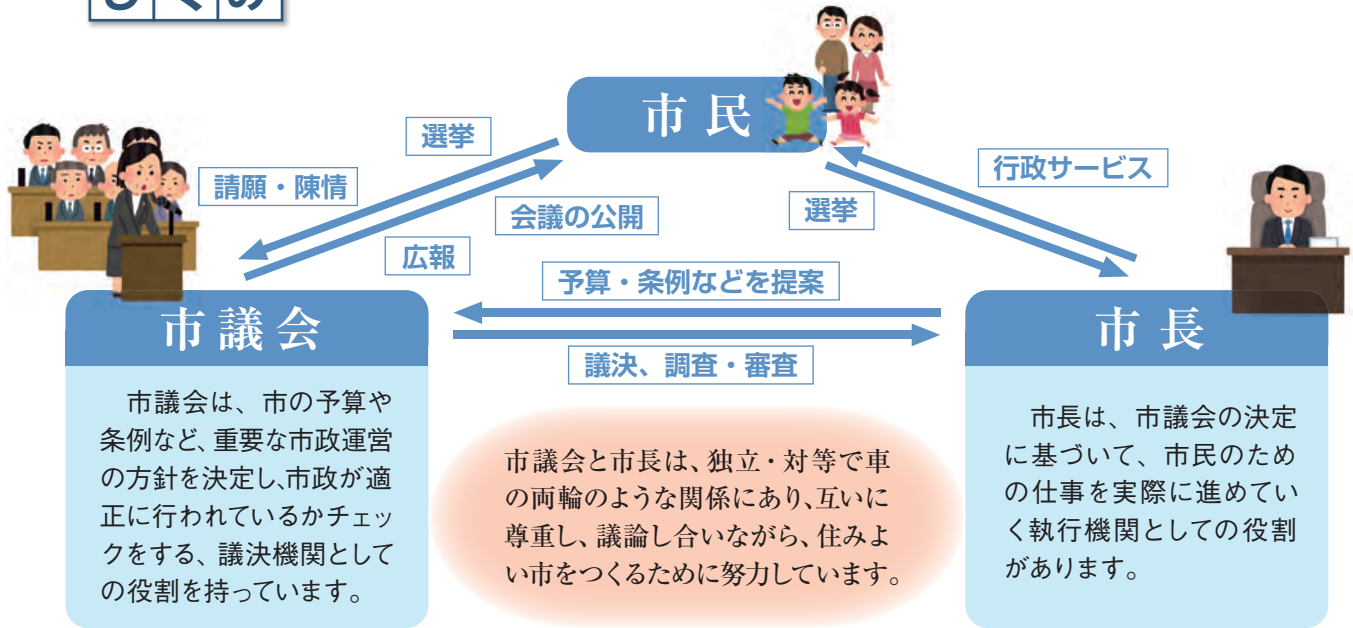


山武市議会ってどんなところ？

～市議会の仕組みや働きについてお知らせします～

市議会のしくみ

市では、福祉、教育、道路など、市民の生活に深く関わる様々な仕事をしています。このため、市政には、市民の意見が十分反映されなければなりません。そこで、市民の皆さんは、その代表者として、市議会議員や市長を直接選挙し、市政の運営をゆだねています。



市議会の流れ



タブレット端末活用によるペーパーレス議会

市では、2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロをオールさんむで取り組む「ゼロカーボンシティさんむ」を令和2年6月に宣言していますが、山武市議会では、持続可能な開発目標（SDGs）の取組の一環として、千葉県内でも先駆けて、タブレット端末導入による「ペーパーレス議会」に取り組んでいます。



本会議での使用状況

■タブレット端末導入までの経緯

平成23年5月 議会改革特別委員会において、議会運営のペーパーレス化・IT化について検討開始
平成26年3月・10月 先進地（埼玉県飯能市議会・神奈川県逗子市議会）への行政視察
平成26年12月 議会全員協議会において、議員全員了承のもと、導入を決定
平成27年6月 タブレット端末を全議員へ貸与し、運用開始

■タブレット端末導入の目的とその効果

- 業務の効率化
会議システム導入による会議運営
- 議会内の情報伝達の迅速性
郵送・FAXによる連絡手段から電子メールへ
- ペーパーレス化による経費削減
印刷に要する人件費等の削減、ごみ排出量の削減
- 災害情報の伝達等への利用
災害時の連絡手段・被災写真の送信等



議席での使用例

会議システムの導入により…

- ペアリング（画面同期）設定により、ページめくりやファイル切り替え等、発表者と参加者のタブレット画面を連動させることができます。
- 資料の印刷や配付の手間がかからず、差し替えも容易に行えます。
- 資料の紛失や情報漏えいの可能性を抑止できます。

■端末操作研修会の実施

タブレット端末操作の習熟度向上のため、操作研修会を実施しました。

なお、タブレット端末の取扱いについては、端末機の使用範囲や使用基準を示した利用規程に則って、各議員が運用管理しています。



導入時の操作研修会の様子

■ペーパーレス化による削減効果

- 紙の削減量 年間約12万枚
（議案・委員会・全員協議会資料等）
- 経費削減額 年間約5万3千円
（紙購入費と資料製本人件費からタブレット端末レンタル費用を除いた額）

その他、資料の差替え作業等、経費に換算していない業務もあり、業務負担の削減効果は絶大です！
また、運用開始後は、平成28年度以降、11団体から行政視察の申し入れがあり、タブレット端末を使用した「ペーパーレス議会」の先進地として、導入までの顛末について課題等も交えながら、説明対応しています。